着脱式手動運転装置

ユニドライブ

取扱説明書

この度はユニドライブをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読み頂き、正しい取扱方法により
ご利用下さるようお願いいたします。
この取扱説明書は無くさないよう、常に車に保管し、必要な時にいつでも見られ
るようにしておいて下さい。

福祉ビジネスの企画開発

あい･あーる･けあ　株式会社

■特に大切な事柄については、以下のようなシンボルマークを用いてご案内しております

⚠ 危険

差し迫った重大な危険の生じる可能性がある内容を示します。
この説明文の内容･指示を無視すると、ドライバーだけでなく同乗者や他の人が死亡または重大なケガを負う危険が、切迫して生じる可能性があることを示します。

⚠ 警告

危険な可能性があることを警告する内容を示します。
この説明文の内容･指示を無視すると、ドライバーだけでなく同乗者や他の人が死亡または重大なケガを負う可能性があることを示します。

⚠ 注意

注意事項を示します。
この説明文の内容･指示を無視すると、ケガを負う可能性があること、また、製品や車の損傷を引き起こす可能性のあることを示します。

1．安全にお使いいただくために

■必ずお守りください

このページに書かれていることは、お客様にユニドライブを快適に、そして安全にお使いいただくために大切な事柄です。よくお読みいただき、必ずお守りください

⚠ 危 険

● 各操作に慣れるまで必ず練習すること。(→page.8)

ユニドライブには特別な操作やコツがありますので、とっさの場合にも安全に正しく操作するためには充分な練習が必要です。

お買い上げの後、初めて運転する前に必ず練習してください。

● 点検は必ず行うこと。(→page.11)

ユニドライブは、自動車の重要保安部品にあたるため、日常点検･定期点検を行うことは運転者の義務となります。

運転前に必ず各操作を一通り試し、不具合や異常の無いことを確認してください。

また、不具合を発見した場合には必ず本書に従い、絶対に運転しないでください。

● 急加速、急ブレーキは極力避けること。

常に安全運転に心がけ、レバーの操作は必ずゆっくりと慎重に行ってください。

急加速や急ブレーキは、ユニドライブにとって特に危険な動作です。

急加速は体重が後ろに引っ張られ、ブレーキがかけられなくなることがあります。

急ブレーキは体重が前に持っていかれ、手を骨折したり、装置を壊したりします。

⚠ 警 告

● 取り付け、取り外しは確実に。 （→page.6）

操作レバー及び駆動装置の着脱は、お客様の自己責任となります。

必ず本書に従って正しく着脱し、取り扱いにも十分注意してください。

うまく取り付けられない、取り付け方が分からない、などの場合は

直ちに巻末記載の「取付販売代理店」に連絡してください。

● 走行中は、絶対にレバーから手を離さない。

車が思わぬ動きをする場合もあり、大変危険です。

● 運転中は、グリップ以外には触らない。

ユニドライブの動きを妨げ、正常な運転が出来ない恐れがあります。

装置にはさまれてけがをする恐れがあります。

ケイレン等により下肢の状態を保持できない方は、ストッパーを取り付けるか

ベルトで固定してください。

● 自分で調整したり、改造したりしない。

操作レバーの高さ・角度、グリップの角度などの調整は、専門的な知識と技

術を必要とします。

調整は巻末記載の「取付販売代理店」にお任せください。

なお、ユニドライブを改造することは、絶対にやめてください。

● ぬれた手でレバーを操作しない。

グリップのスイッチには電気が流れているため、感電する恐れがあります。

⚠ 注 意

● ウィンカースイッチは、車側のウィンカーと同時に使用しない。

正常に作動しなくなる場合があります。

● ブレーキロックは、ブレーキが十分に効く位置でロックする。

ブレーキの効きが不十分だと車が動き出す場合があります。

● 10秒以上ブレーキロックスイッチを押し続けない。

ブレーキロックを壊す恐れがあります。

● 駐車時にはブレーキロック解除。（→page.10）

ブレーキロックを解除しないと、エンジンを切ってもブレーキランプが点灯したままになり、バッテリーあがりの原因になります。

また、ブレーキ部品の寿命を縮める原因になる場合があります。

目　　次

※本書の記載事項及び製品の仕様は、改良のため予告無く変更することがあります。

2. はじめに

◯特徴

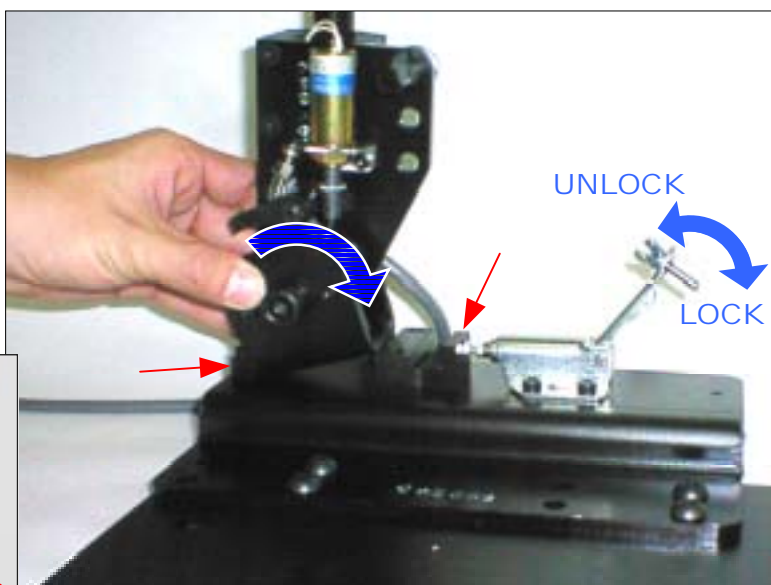
この手動運転装置 「ユニドライブ」 はオートマチック車に装備することにより、両下肢に障害のある方が手動でアクセル、ブレーキ等の操作を行うことが出来ます。
さらに、 「ワンタッチ」 で取り付け、取り外しが可能な為、「健常者」 と 「障害者」 が同じ車両を共用することが可能となりました。

◯部品構成と各部の名称

3．取り付け・取り外し方法

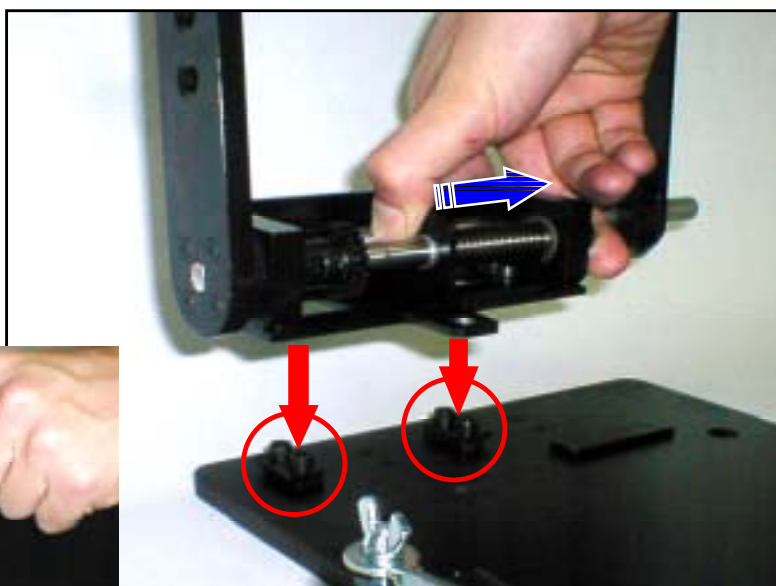
■取り付け・取り外しの作業は、周囲に車の通行など危険の無い平坦な場所に駐車し、サイドブレーキをかけて車が動かないことを確認し、エンジンを止めた状態で行ってください。

⑴ 操作レバーの取り付け

操作部取り付け部分の後側のツメ①にレバーの基部を引っ掛けて前方に倒し、前側のツメ②が入るようにロックレバーを倒して固定します。
しっかりと固定されたことを確認した後、ロックボルトでレバーを固定します。
取り外すときは、ロックレバーを立てて前側のツメ②を前方にずらし操作レバーを上に持ち上げます。

ロックボルトで固定

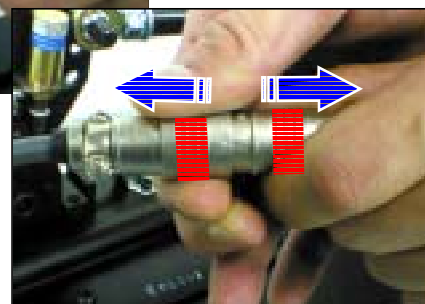
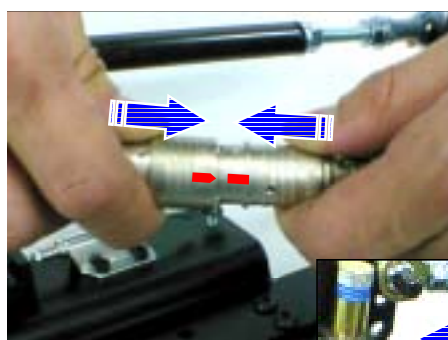
⑵ 駆動装置の取り付け

クランププレートを右側に寄せながらギアボックス下側の穴をベースプレートの二つの突起に合わせてはめ込みます。
クランププレートを放して、ギアボックスが斜めになったりガタついたりしていなければ正しい取り付け位置です。
ギアボックスカバーを取り付け、ロックボルトで固定してください。
取り外しは逆の手順で。

ロックボルトで固定

⑵ リンクロッドの取り付け

ロッドエンドをガイドポストに差し込みます。
ポストに対してまっすぐ差し込まないと入りづらい場合があります。
ラッチがしっかり掛かっていることを確認してください。
取り外しはラッチを親指で押し込みながらロッドエンドを抜きます。

⑴ コネクタの接続

合わせマークを合わせて押し込むとロックされます。
取り外しは、赤色部分を持って両側に引っ張ります。

⑸ 安全カバーの取り付け

カバーの穴にレバーを通して操作部、リンクロッドを覆うように
かぶせてください。
ゴミやホコリが入るのを防ぎ装置を保護するとともに、装置に触ってケガをすることを防ぎます。

4．操作方法

○基本操作

■実際に運転する前に、ユニドライブの操作をよく確認してください。
道路上の運転には危険な場面も多く、避けては通れません。
いざというとき正しく操作できるよう、充分に操作の練習をしてください。
※エンジンを止めた状態で練習してください。

⑴ アクセルとブレーキ

操作レバーを前に押すとブレーキペダルが
操作されブレーキがかかり
手前に引くとアクセルペダルが操作され
車が加速します。

⑵ ブレーキロック装置

ブレーキロックスイッチを押しながら
操作レバーを前方にいっぱいまで
押し込むと、カチカチと音がして
レバーがロックされます。
解除するにはレバーをもう一度
軽く前方に押します。
充分練習して操作感覚をつかんでください。

⑶ ウィンカー

シーソー式のスイッチになっていますので、曲がりたい方向に押します。
解除するには反対側を軽く押し込んでください。

⑷ クラクション

スイッチを押せばクラクションが鳴ります。

○実際の運転操作

■道路で運転する前に、教習所等、安全な場所での練習をお勧めします。

(1) エンジンをかける

1) 操作レバーを前方にいっぱいまで押し込み、ブレーキロックをかけます。
2) サイドブレーキがしっかりとかかっていること、チェンジレバーがPに入っていることを確認します。
3) エンジンをかけます。

(2) 発進する

1) ブレーキロックがしっかりと効いていることを確認します。
2) チェンジレバーをD(後退時はR)に入れ、サイドブレーキを解除します。
3) 操作レバーを軽く前方に押し込み、ブレーキロックを解除します。
   このとき、絶対にレバーから手を離さないこと。
   とくにエンジン始動直後は回転数が高くなっており、不用意に急発進してしまうことがあります。
4) 操作レバーをゆっくりと手前に戻し、発進してください。
   坂道、凹凸路などでは、さらにレバーを手前に引き、エンジン回転数を上げないと発進できない場合があります。
   急な上り坂では、ブレーキを戻すと車が下がる場合がありますが、決して慌てず、落ち着いて速やかにレバー操作をして発進してください。

■ヒント:エンジンブレーキについて

ユニドライブは操作の仕方から、走行中にチェンジレバーを操作することができません。長い坂道などでエンジンブレーキが必要な場合は、なるべく早く交通の妨げにならない場所に停止して、必要なギアにチェンジしてから走行しましょう。

（1） 停車する

1） 操作レバーを前方に押し、ブレーキをかけて減速、車を停止させます。一時停止のときは、そのままレバーをしっかりと前に押しつづけます。
2） 停車時間が長くなるときは、ブレーキロックをかけサイドブレーキを効かせ、チェンジレバーをNに入れてください。

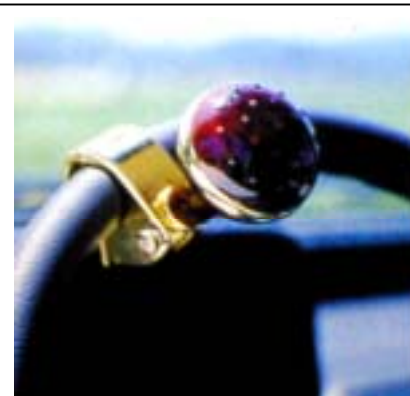
●停車の後、再発進するときは
チェンジレバーがDに入っていることを確認してから発進してください。

（2） 駐車する

1） 車を完全に停止させ、ブレーキロックします。
2） サイドブレーキをしっかりかけます。
3） チェンジレバーをPに入れます。
4） エンジンを切ります。
5） ブレーキロックを解除します。

■オプション部品のご案内

○回転装置

片手でのハンドル操作が楽になるワンハンドハンドルノブです。
ハンドル内側に格納することができ取り外さずに車両の共用が出来ます。

○ペダル干渉防止プレート

ケイレン等により下肢の状態を安定できない方に。
ブレーキ/アクセルペダルの手前に取り付けることにより装置と下肢の干渉を防ぎ、アームにはさまれてケガをするなどの事故を防ぎます。

ご用命は巻末記載の「取付販売代理店」、または　あい・あーる・けあ　まで

5．点検と保守

■運転する前に

必ず下記の点検をしてください

○エンジンをかける前に点検する項目

■必ずエンジンがかかっていないことを確認してから点検すること

- 操作レバー
  - グリップを握って前後左右にゆすったとき、ガタつきのないこと。
  - レバーが前後方向にスムースに動くこと。
  - レバーをブレーキ側いっぱいに押した後、手を離すと自動的にニュートラルの位置に戻ること。
  - レバーをアクセル側いっぱいに引いた後、手を離すと自動的にニュートラルの位置に戻ること。

- ブレーキロック
  - ブレーキロックが正常に作動すること。

- 駆動装置
  - 駆動装置各部を手でゆすったとき、ガタつきのないこと。

- リンクロッド
  - リンクロッドを手でゆすったとき、ガタつきのないこと。

○エンジンがかかった状態で点検する項目

- 各操作スイッチ
  - ウィンカー、クラクションが正常に作動すること。

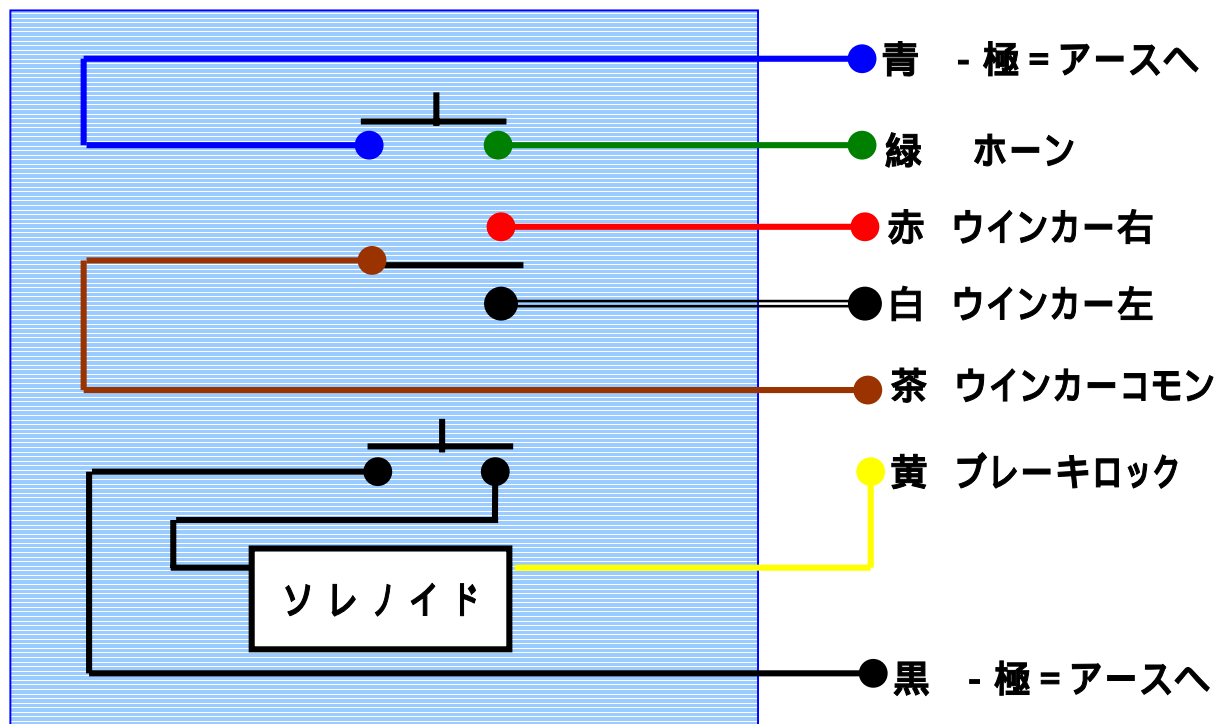
○保守と点検

- 異常があった場合の対処方法

  ■巻末に記載の「取付販売代理店」に直ちに連絡してください。

- 定期点検

  ■6ヶ月毎に「取付販売代理店」にご用命ください。

ユニドライブ配線

＝ケーブル仕様＝
・車体取付けコード　2．5m
・操作コード　1．3m
・黄色コード0．3Sq　1m
・MVVS7芯シールド（3Sq）

※『ブレーキロック』配線は、ブレーキランプと連動している配線から割込み配線工事すること。

！注意！
車種によって＋・－極性が逆の場合がありますので注意してください

N O T E

1． 保証とアフターサービス

■異常や故障の場合

異常や故障が発生した場合、次の項目を確認の上
あい・あーる・けあ㈱までご連絡ください。
(購入時に書き込んでおいてください)

商品名：ユニドライブ
製造番号：
購入年月日：
購入店：

■保守点検表

年月日	内　　　　容	備　　　　考	販売店

■免責事項

○ 火災・地震・第三者による行為・その他の事故・お客様の故意または過失・誤った使い方・その他、異常な状況下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。

○ 本取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関しては当社は一切の責任を負いません。

保証書

製品名	ユニドライブ
製造番号	
製造年月日	年　　月　　日

保証期間	ご購入後一年間
ご購入日	年　　月　　日
お客様氏名	
御 住 所	〒
電話番号	(　　　　)

故障内容：

本保証書は、本取説記載内容に基づき、保証期間内に限り無償にて修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合には、本保証書に故障内容をご記入の上、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。

発売元:

あい・あーる・けあ　株式会社

〒125-0032 東京都葛飾区水元 2 丁目 21－2

電話 03(5660)7701 FAX 03(5660)7703

製造元:

株式会社 リバーストン

〒279-0043 千葉県浦安市富士見 4 丁目 7-11

電話 047(354)3061 FAX 047(352)8688

取付販売代理店: